

川西市舗装修繕計画 概要版

計画及び調査の概要

【計画の概要】

本市が管理する道路を適切に維持管理するうえで、効率的かつ効果的に舗装を補修していく必要があることから、道路の安全性の確保をめざし、長期的を視野に立って補修路線の優先順位を付けるため、『川西市舗装修繕計画』を策定する。

【道路の種別】

総延長 525km
 幹線道路 65km (車道部幅員5.5m以上の重要性が高い路線)
 細街路 460km (幹線道路以外の路線)

【補修の考え方】

幹線道路(主要な細街路含む)

路面性状調査等により補修箇所の優先順位を検討し予防保全型の補修を実施

細街路

道路状況調査や情報提供をもとに「補修フロー」に沿って対応

【調査の概要】

調査路線数...170路線(幹線道路92路線、主要な細街路78路線)
 調査延長...約99km(幹線道路65km、主要な細街路34km)
 細街路のうち地域の主要な路線を調査対象に含む

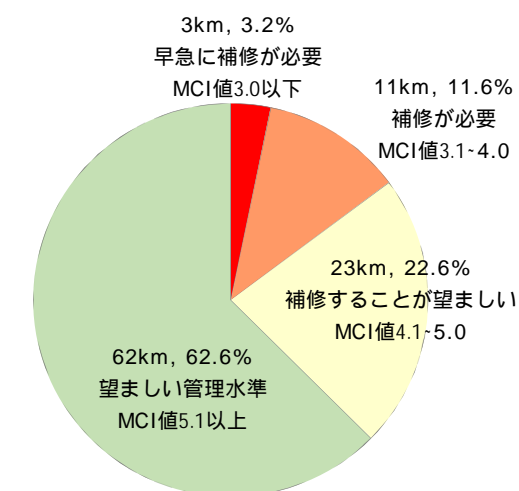
【調査方法】

MMS(Mobile Mapping System)を用いて、3次元レーザ点群データを取得し、舗装の損傷状況を調査した。

【MCI評価】

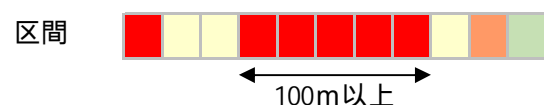
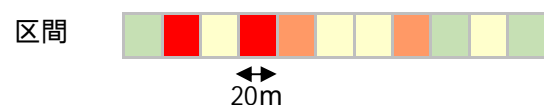
「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」、「平坦性」によって定量的に評価し、維持補修を判断する総合的な指標

【調査結果】



幹線道路の考え方(主要な細街路含む)

【補修箇所評価区間】



【優先度設定】

優先度評価における各項目点数表

路面性状調査結果			社会的影響度		
健全度	細目	点数	細目	点数	
健全度	健全度 4<MCI	0	バス路線	該当する	2
	健全度 3<MCI	4		該当しない	0
	健全度 2<MCI	3	舗装復旧	A復旧	2
	MCI 2 (1箇所)	15		B復旧	1
	MCI 2 (複数)	20		上記以外	0

満点: 20+2+2=24

【補修方法】

幹線道路

施工性及び通行規制を考慮して、基本的には「10cm切削オーバーレイ」を採用。

主要な細街路

基本的には「5cm打ち換え」を採用。

【補修に要する費用】

	総延長(km)	MCI 4割合	MCI 4延長(km)	道路部面積(m ²)	MCI 4区間面積(m ²)	補修単価	補修費用(億円)
幹線道路	65km	14.2%	9km	626,820	93,628	12,000円/m ²	11.2
主要な細街路	34km	16.3%	5km	187,000	27,500	8,000円/m ²	2.2

【調査に要する費用】

項目	調査延長	単価	調査費用	備考
路面性状調査	99km	60,000円/km	約600万円	MMSを使用

細街路の考え方(幹線道路及び主要な細街路以外の路線)

【細街路 補修フロー】

